



平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第5ブロック研修会（抜粋）

市町村における生涯学習の展望

2017. 10. 28 田中雅文（日本女子大学）

クイズ：生涯学習とは何か？

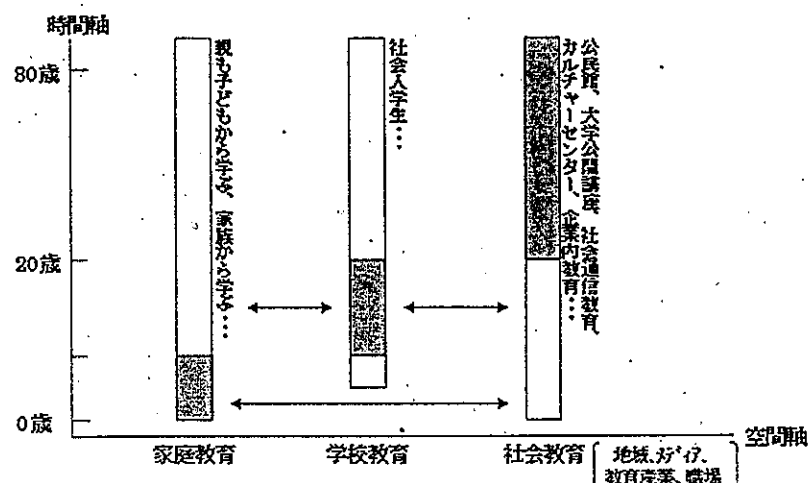
次のうち、生涯学習に含まれるものはどれでしょうか？

- ①公民館での自主学習グループの活動（ ）
- ②カルチャーセンターでの学習（ ）
- ③小学校の算数の授業における児童の学習（ ）
- ④ボランティア活動を通じた意識の変容（ ）
- ⑤大河ドラマから人生の奥義を学ぶこと（ ）

1. 生涯学習とは何か？

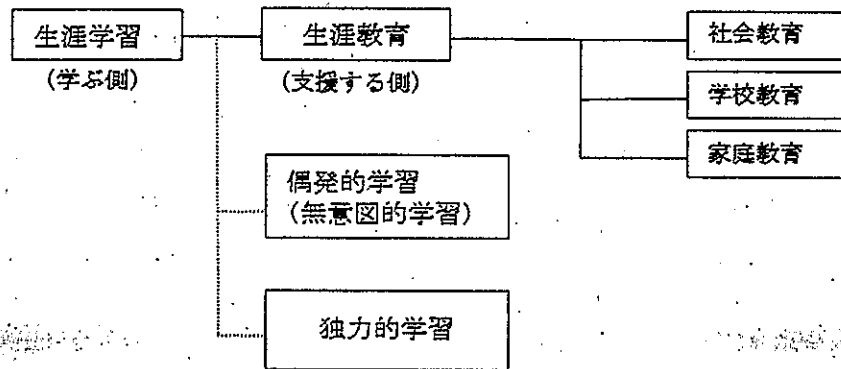
(1) 生涯学習の全体イメージ

図1. 時間軸と空間軸からみた生涯学習の機会



田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜『テキスト生涯学習—学びが広がる新しい社会—〔新訂版〕』学文社、2016年、3頁。

図2. 生涯学習の全体像



田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜『テキスト生涯学習—学びがつむぐ新しい社会—【新訂版】』学文社、2016年、4頁。

2017/10/28

(2) 法律における「社会教育」

①教育基本法

「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」(第十二条)

②社会教育法

「学校教育法に基き、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)」(第二条)

(3) 法律・答申における生涯学習

① 生涯学習の理念(教育基本法より)

(生涯学習の理念)

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

② 生涯学習と生涯教育の関係(中央教育審議会「生涯教育について(答申)」昭和56年より)

今日、変化の激しい社会にあって、人々は、自己の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これらの学習は、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段・方法は、これを自ら選んで、生涯を通じて行うものである。その意味では、これを生涯学習と呼ぶのがふさわしい。

この生涯学習のために、自ら学習する意欲と能力を養い、社会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育の考え方である。言い換えれば、生涯教育とは、国民の一人一人が充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習を助けるために、教育制度全体がその上に打ち立てられるべき基本的な理念である。

③ 生涯学習についての文部科学省見解

(生涯学習と社会教育・学校教育の関係)

- このように整理した上で、生涯学習と社会教育・学校教育の関係を整理すれば、各個人が行う組織的ではない学習（自学自習）のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、国民一人一人がその生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動が生涯学習である、ということができる。この場合、概念的には、社会教育や学校教育そのものではなく、そこで行われる多様な学習活動が、生涯学習に包含される対象であることに留意する必要がある。

生涯学習についての文部科学省見解（平成20年2月の中教審
「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環
型社会の構築を目指して～（答申）」37頁）より

2. 生涯学習の現代的な意義

(1)一人一人の人生が豊かになる

- 基本は個人の自己実現や能力の開花
- 社会的な利益も無視できない
(公的経費の削減、活気ある社会など)



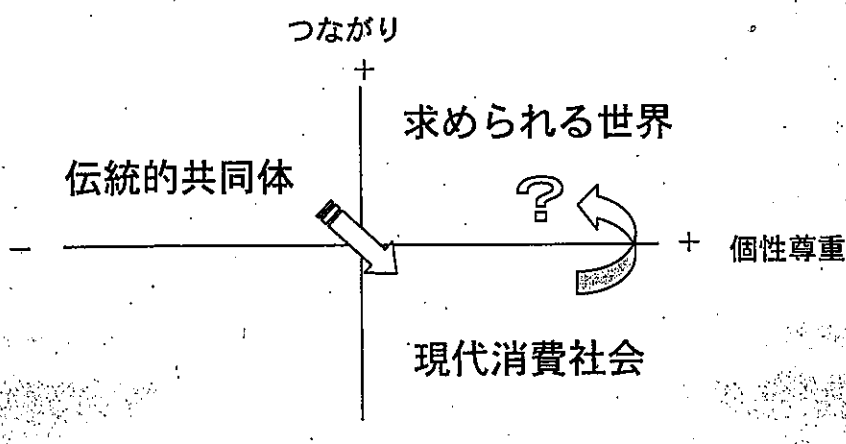
(2)学習を通して「つながり」が生まれる

- 「学び合い」や人間関係の促進
- ソーシャル・キャピタルからコミュニティ形成まで

ソーシャル・キャピタル (social capital) とは、「人與人」や「組織と組織」の社会的な関係が資本 (財産) である、という考え方。社会関係資本という訳もある。

【参考: 稲葉陽二『ソーシャル・キャピタル入門』 中公新書、2011年】

資料：つながりと個性尊重

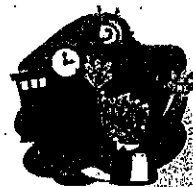


(3) 学習成果を地域づくりに活かす

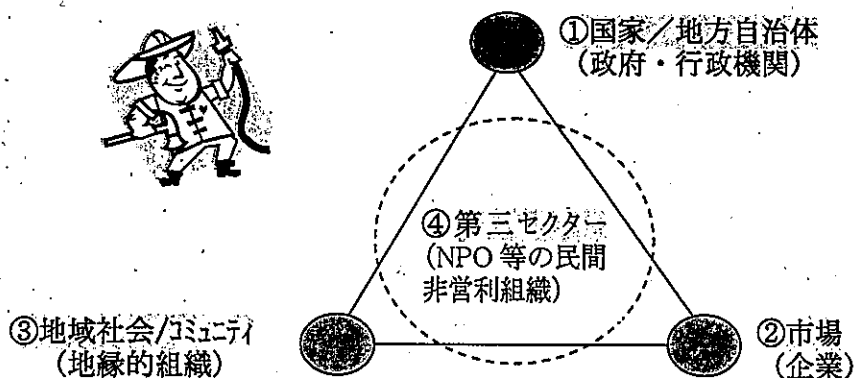
- 地域課題の解決に向かう活動(地域学など)
- 伝統文化・芸能の継承、教養学習も重要
- 学習とまちづくりの(市民活動・ボランティア活動)の循環的發展

(4) 学校と地域を結びつける

- 学校だけでは成り立たない「学校教育」
- 地域と学校の協働による教育と地域づくり



資料：社会を運営する主な部門



資料：市民活動は学習促進の活動でもある

NPO法人の活動分野

全国のNPO法人： 51,723団体（2017.3.31）

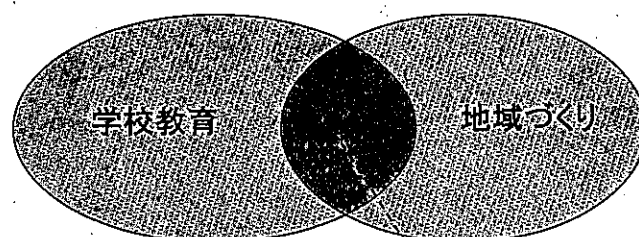
活動分野：保健福祉59%、社会教育48%、他団体の援助47%、子ども育成46%、まちづくり44%、学術・文化・芸術・スポーツ36%、環境保全27%・・・

（2017.3.31内閣府調べ）

主たる活動分野：保健福祉37%、まちづくり8%、子ども育成9%、文化・スポーツ・芸術・学術10%、環境保全12%、社会教育3%（2008年2～3月内閣府調査）

15

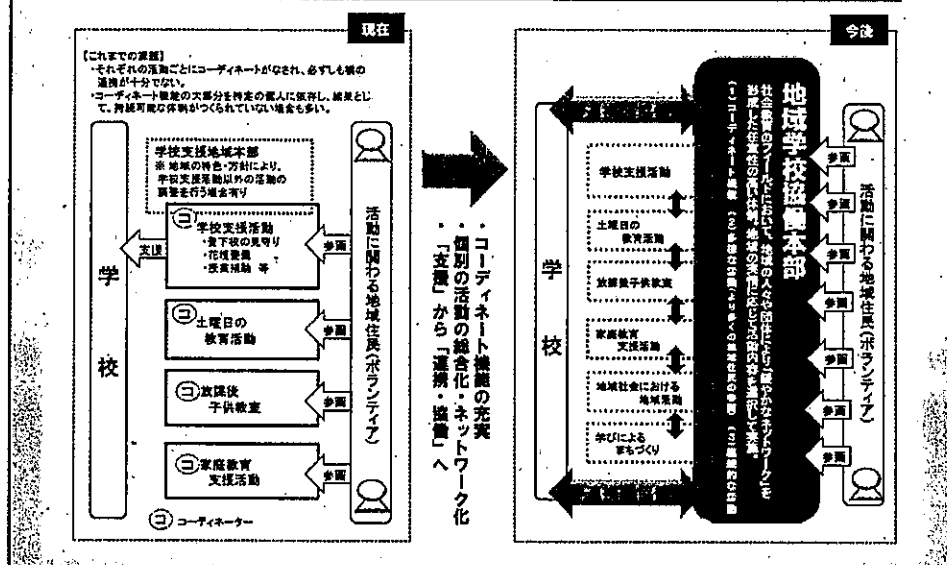
資料：学校・地域の相互メリット



win-win関係を大切に

学校支援地域本部⇒地域学校協働本部

今後の地域における学校との協働体制（地域学校協働本部）の在り方 ～目指すべきイメージ～



3. 生涯学習に関する行政の課題

(1) 社会教育施設を地域づくりの拠点に

- 公民館(市民会館、生涯学習センター)、博物館、図書館・・・
- 地域課題、伝統文化・芸能、歴史、SNS対応、・・・

(2) 市民活動を「学習」面から支える

- 「学び」から始まる市民活動
＝学習と市民活動の相乗効果
- 「社会教育士」(文部科学省)の可能性



(3) 「ネットワーク型」行政を醸成する

- 行政内のタテ割りを解消
(社会教育と学校教育、教育行政と一般行政)
- 地域内外の諸機関とのネットワーク化
(企業、大学、小中高校、NPO・・・)

(4) 職員の生涯学習を推進

- 市民とともに地域課題を学ぶ＝協働の基本
- 公共施設を職員の生涯職業教育に活用

